

【 脳血管造影検査 】

脳血管造影検査とは、頭部の血管に造影剤(ヨード系薬剤など)を注入してX線撮影し、動脈、静脈、毛細血管の異常を観察する検査です。動脈に瘤(こぶ)ができている動脈瘤や、脳動静脈奇形、くも膜下出血や脳出血による出血部位の判定、脳腫瘍などを診断します。また、くも膜下出血の原因となる動脈瘤や脳動静脈の奇形などの手術の前に、状態を詳しく観察し、脳腫瘍の手術前に腫瘍の近くを重要な血管が通っていないか、腫瘍に血管が食い込んでいないかなどを調べます。脳血管造影検査は、動脈にカテーテルという細い管を挿入して、その先端を脳の近くまで進め、造影剤を注入し、X線撮影します。当院では年間約70例の検査を行い、検査入院される患者さんはこのような入院生活を送ります。







脳血管造影(右腕) を受ける患者さんへ

患者さん用

お名前：

責任担当医：

担当看護師：

項目	入院当日		入院2日目		退院
	検査前日	検査当日(検査前)	検査当日(検査後)	検査後1日目	
達成目標	・ 不安なく検査に臨める	・ 不安なく検査に臨める			・ 出血・疼痛・腫れがない。
治療 ・ 薬剤 (点滴・内服) ・ 処置 ・ リハビリ	・ 服薬中のお薬は、医師に確認してから改めて内服をするかお伝えします。	・ 検査前に点滴を開始します。 ・ 検査前に検温をします。	・ 検査後・検査1・3・6時間後に検温をします。		・ 翌朝7時に検温をします。 ・ 刺入部の消毒を朝の回診時に行います。
検査	・ 外来にて、採血・胸部レントゲン・心電図が行われていない方は入院後行います。		・ 右腕は、動かさないようにして下さい。翌朝まで、シーネで固定をします。		・ 右腕の消毒が終わりましたら、自由に動かすことが出来ます。
活動 ・ 安静度	・ 活動に制限はありません。	・ 検査室へは歩行もしくは車椅子で行きます。	・ 検査室には、車椅子でお迎えに行きます。		
食事	・ 食事を召し上がることが出来ます。	・ 検査直前は食事をとることが出来ません。 	・ 検査2時間後から食事を召し上がる事が出来ます。飲水は、検査終了後より出来ます。造影剤を使用しているので、水分を多めに取るようにして下さい。(水分制限のある方は、制限範囲内でとるようにして下さい) 		
清潔	・ 入浴・シャワー浴が出来ます。 	・ 入浴・シャワーは、翌朝まで出来ません。			
排泄		・ 検査の前には、必ず御手洗を済ませて下さい。	・ 検査後の初めての歩行は、看護師が付き添います。		
患者さん及びご家族への説明 栄養指導 服薬指導	・ 医師が、検査について説明します。その際に承諾書をお渡しします。記載をしたら看護師にお渡し下さい。 ・ 看護師が検査について説明します。	・ 検査に行く時は、貴金属類や義歯などを外して下さい。検査中は、検査室の看護師が対応いたしますので、苦痛があったり不安な事がある時は、遠慮無くお申し出下さい。			次回外来日について説明します。 

* 予定が変更になる場合があります。

ご質問やご不明な点がございましたら、担当医師または看護師にお伝え下さい。

予定は、お身体の状態や検査の状況で変更となる場合がございます。ご了承下さい。

東邦大学医療センター 大森病院

作成日：平成28年11月11日